

海外事務所だより

ソウル事務所

韓国著名漫画家による 日本の魅力発信事業について

(一財)自治体国際化協会ソウル事務所所長補佐 古殿 誠(鹿児島県派遣)

今年5月31日、ソウルの中心部(ソウル特別市チョンノ鍾路)に、「食客村」がグランドオープンしました。ここは、2002年9月から2008年12月まで、東亜日報に連載された漫画「食客」で取り上げられた中から選び抜かれたレストラン10軒を最近新築したばかりの「グラン・ソウル」ビル商店街の地下1階と地上1、2階に集め、「食客村」という名前でオープンしたものです。漫画の中の食客村を現実社会に導いた仕掛け人の1人が、漫画の原作者であるホ・ヨンマン画伯です。漫画に登場した数々のレストランから、味とストーリーを最も重要な基準にして出店した「食客村」には連日大勢の市民が訪れ、韓国のグルメや漫画ファンの注



食客村

目スポットとなっています。

韓国著名漫画家による 日本の魅力発信事業

ソウル事務所では、このホ・ヨンマン画伯を中心に韓国内でも有名な作家や人気プロガーで構成した取材団を日本の各地域に招聘し、地域の伝統文化や観光地、旅館や温泉、郷土食といった日本独自の文化を体験しながら、その取材内容をさまざまな媒体を通じて、韓国内の消費者にPRし、日本への観光客誘致につなげるというユニークな取り組みを行っています。

ホ・ヨンマン(許英萬, 허영만)画伯について

- (略歴)
- 1947年 韓国全羅南道麗水生まれ。
- 1966年 バク・ムンニョン氏に弟子入り。
- 1974年 韓国日報新人漫画公募展で『家を探して』が当選・デビュー。
- 2000年 スポーツ朝鮮に『TAZZA(タチャ)』、『愛してる』を連載。
- 2003年 東亜日報に『食客』の連載を開始。「今日のウリ漫画賞」を受賞。
- 2004年 「大韓民国漫画大賞」、「富川国際漫画祝祭漫画大賞」を受賞。
- 2006年 『TAZZA(タチャ)』映画化。
- 2007年 『食客』映画化。
- 2009年 日本語版『食客』を日本で発売(現在第1~5巻を刊行)、ドラマ版『食客』も日本の民間衛星放送局で放映されたほか、2009年5月に発したイ・ミョンバク大統領の夫人を名誉会長とする韓国料理世界化推進団の委員に、ペ・ヨンジュン氏などとともに参加。『食客』が、『食客2』として再び映画化。
- 2011年 財団法人自治体国際化協会ソウル事務所における「韓国人観光客誘致促進事業」にて日本の各地域取材し、単行本『ホ・ヨンマンの美味しく寛ぎました(日本に秘められた味・温泉・人(出会い)の話)』を発刊。
- 2012年 イ・ミョンバク大統領の特別随員として、APEC首脳会議のための出張に同行。
- 2013年 『食客2』の連載を開始(※アンドロイドスマートフォンで、カカオページというアプリケーションを使用することにより閲覧可能)



食客(映画、ドラマ)について

優れた料理実力者が、野菜などの食材を売りながら、全国津々浦々を巡る食物紀行を描いたホ・ヨンマンの同名漫画をスクリーンに移した作品。



映画版(2007年)

映画版(2009年)



ドラマ版(2008年)

ホ・ヨンマン画伯について

事業の仕組み

この事業は、取材を希望する自治体とソウル事務所が共同で実施しています。自治体は、各取材先との調整をはじめ、取材当日のアテンドなどを

行います。ソウル事務所は、取材に係る自治体と取材団との調整や取材時のサポートを行い、取材が円滑に行われるようお手伝いしています。また、取材にかかる経費は自治体が負担しますが、ソウル事務所がその一部を負担し、参加自治体の負担軽減を図っています（図1参照）。

韓国著名漫画家による日本の魅力発信事業

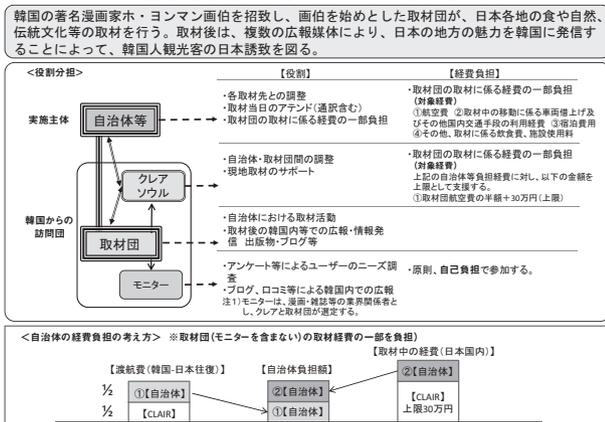


図1 事業の仕組み

2013年度の実施状況

2013年度は①九州4市（鹿児島市、熊本市、北九州市、福岡市）、②広島県、③宮崎県の取材を行いました。

①九州4市（鹿児島市、熊本市、北九州市、福岡市）

取材のテーマは「九州新幹線の旅」。2013年7月10日～14日の日程で鹿児島から福岡方面に新幹線で北上しながら、各地を取材しました。桜島（鹿児島市）、植木温泉（熊本市）、「モノづくりのまち」（北九州市）、博多祇園山笠祭り（福岡市）などの体験を通じて、各地の魅力取材しました。



桜島をスケッチする画伯

②広島県

2013年9月29日～10月4日の日程で行われた取材のテーマは「癒しの旅」でした。瀬戸内海沿いの風情ある「温泉」、「旅館」を体験しながら、広

島県が誇る2つの世界文化遺産（宮島・厳島神社、原爆ドーム）を中心に取材が行われました。昔ながらの港や古民家が残る街並み（鞆の浦）や、その美しさから数多くの文学、映画、ドラマの舞台となっている風景（尾道市）、さらに、郷土料理や日本酒、旅館、温泉、そして、何より日本のおもてなしの心を満喫する取材となりました。



尾道の街並みを眺める画伯（千光寺公園）

③宮崎県

2014年2月16日～20日の日程で行われたのは、神話のふるさと宮崎取材です。北は高千穂町から南は日南市まで、南国・宮崎県を南北に縦断し、古代ロマンの香りとダイナミックな自然、豊かな食を体感する取材となりました。神話のふるさとの名にふさわしく、各地のパワースポット（青島、飫肥城、高千穂）を巡りながら自然の恵みを体感しました。



神楽殿にて（天岩戸神社）

※各取材の詳細については、クレアメールマガジンをご覧ください。

http://www.clair.or.jp/j/forum/c_mailmagazine/201309_1/1.pdf（九州4市）

http://www.clair.or.jp/j/forum/c_mailmagazine/201312_3/2-1.pdf（広島県）

http://www.clair.or.jp/j/forum/c_mailmagazine/201405_1/5.pdf（宮崎県）

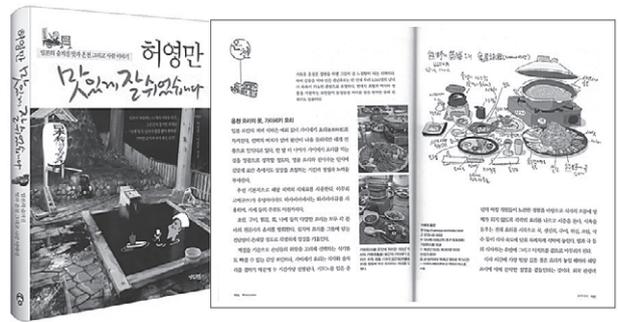
これまでの取組成果

この事業では、2009年4月の秋田県取材以降、これまで22回（21道県、8市、2013年度末現在）の取材を実施しました（図2参照）。そして、取材後は、各種観光雑誌や情報誌、経済誌などの媒

体を活用して取材地域の情報を発信しています。最近では、アジアナ機内誌の記事としても取り上げられるなど、韓国人はもちろん、多くの方々に日本各地の魅力を発信しています。また、2011年2月までの取材内容は単行本としても出版され（発行部数：約19,000部（2013年6月現在）、第2巻目の単行本が今年発刊される予定となっています。



各種雑誌での広報



単行本

さらに魅力ある事業とするために

自治体にとって、さらに魅力ある事業とするために、ホ・ヨンマン画伯を中心に、旅行専門誌の作家や旅行エッセイの著者、またパワーブロガーとして発信力の高い人材を集めて取材団を構成し、広報媒体を充実させ、ターゲットとなる消費者のニーズに合った情報の発信に努め、PR効果の向上を目指しています。今後、韓国における観光客誘致に取り組む予定のある自治体においては、ぜひ事業のご活用をご検討ください。

韓国人観光客誘致促進事業 韓国著名漫画家による日本の魅力発信事業 取材地（2014年2月現在）

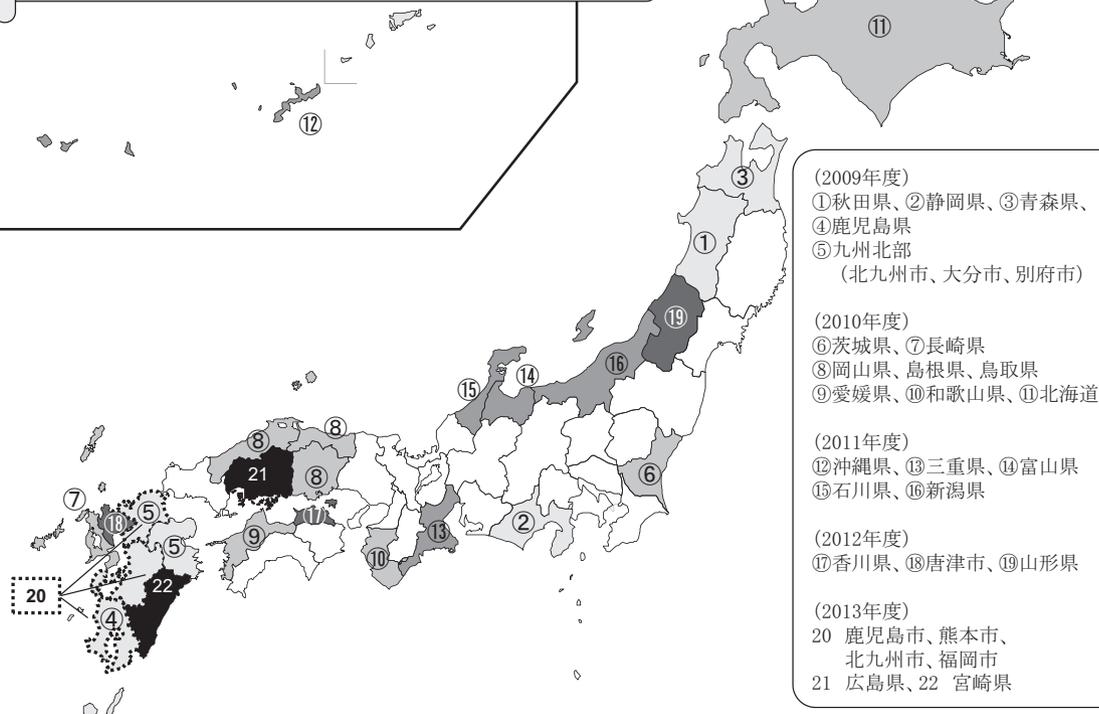


図2 これまでの取材地